

計画どおりの収入が得られているものと思われる。また、財源捕捉も適正と思われる。

**③下水道事業特別会計**  
**(ア)下水道受益者負担金及び下水道使用料の収入状況と意見**  
 下水道事業受益者負担金の現年分は、予算現額45万7千円、調定額115万6千円、収入済額97万2千円、収入未済額18万3千円となっている。対予算収入率は212・8％(103・2％)、対調定収入率84・1％(68・5％)で、いずれも前年同期を下回っている。

滞納繰越分は、予算現額20万円、調定額37万5千円、収入済額7万5千円、収入未済額363万円となっている。対予算収入率37・5％(11・2％)、対調定収入率2.0％(0.6％)で、いずれも前年同期を上回っている。

下水道使用料の現年分は、予算現額2億7千600万円、調定額1億205万円、収入済額9千69万7千円、収入未済額1千135万4千円となっている。対予算収入率は32・9％(31・5％)、対調定収入率

88・9％(85・3％)であり、いずれも前年同期を上回っている。

滞納繰越分は、予算現額500万円、調定額585万円、収入済額515万7千円、収入未済額69万3千円となっている。対予算収入率103・1％(46・5％)、対調定収入率88・1％(36・5％)で、対予算収入率は前年同期を下回っており、対調定収入率は前年同期を上回っている。

今後も徴収率の向上に向けた関係職員の更なる努力に期待するものである。

**(イ)一般会計繰入金の繰入状況と意見**  
 予算現額2億4千826万1千円(2億1千201万円)、繰入額1億円(1億円)である。今後の繰入については、年度末に至るまでの所要額を勘案し、繰入れされるものと思われる。

**(ウ)その他の収入状況と意見**  
 計画どおりの収入が得られているものと思われる。また、財源捕捉も適正と思われる。

**(ア)介護保険料の収入状況と意見**  
 予算補正は、3回3億1千858万円が追加されているが、補正理由は適正である。予算流用は、14件34万6千円が行われている。流用理由は適正である。予備費充当は、4件729万1千円が行われている。充当理由は適正である。

**(オ)執行状況**  
 各款毎の予算執行状況は下表のとおりである。

今後の事業執行にあたっては、予算の目的に従って積極的に事業の推進を図りたい。

**②国民健康保険事業特別会計**  
 予算現額18億6千17万7千円、支出負担行為額8億4千437万9千円、執行率45・4％(41・9％)で、前年同期を上回っている。

予算補正は1回で、4千798万1千円が追加されているが、補正理由は適正である。

予算流用、予備費充当はなし。

**③下水道事業特別会計(単位:千円)**  
 予算現額6億7千517万1千円、支出負担行為額3億3千734万円、執行率50・0％(65・7％)で、前年同期を

下回っている。

工事請負費は、予算現額1千880万円、支出負担行為額214万7千円、執行率11・4％(97・1％)で、前年同期を下回っている。

予算補正は1回で70万1千円が追加されているが、補正理由は適正である。

予算流用、予備費充当はなし。

**④介護保険事業特別会計**  
 予算現額13億468万6千円、支出負担行為額5億227万6千円、執行率38・5％(44・1％)で、前年同期を下回っている。

予算補正は1回で、3千141万6千円が追加されているが、補正理由は適正である。

予算流用、予備費充当はなし。

**⑤後期高齢者医療特別会計**  
 予算現額1億6千509万円、支出負担行為額7千522万5千円、執行率45・6％(45・3％)で、前年同期を上回っている。

予算補正は1回で、125万8千円が追加されているが、補正理由は適正である。

予算流用、予備費充当はなし。

平成27年度一般会計の各款毎の予算執行状況

(単位:千円 平成27年9月30日現在)

	予算現額 A	支出負担行為額 B	支出済額 C	予算残額 A-B	執行率	
					B/A	C/A
議会費	94,067	52,967	48,868	41,100	56.3%	52.0%
総務費現年	1,003,654	358,817	306,410	644,837	35.8%	30.5%
↳ 繰越明許	6,765	5,613	807	1,152	83.0%	11.9%
民生費	1,818,156	774,339	740,271	1,043,817	42.6%	40.7%
↳ 繰越明許	170,451	159,320	159,179	11,131	93.5%	93.4%
衛生費	626,608	199,505	170,192	427,103	31.8%	27.2%
労働費	19,000	19,000	19,000	0	100.0%	100.0%
農林水産業費	22,914	8,212	6,793	14,702	35.8%	29.6%
商工費	25,140	22,175	20,344	2,965	88.2%	80.9%
↳ 繰越明許	15,500	10,000	10,000	5,500	64.5%	64.5%
土木費	909,807	356,865	162,325	552,941	39.2%	17.8%
↳ 繰越明許	82,195	22,116	9,141	60,079	26.9%	11.1%
消防費	191,021	23,376	17,059	167,645	12.2%	8.9%
教育費	512,826	235,913	203,575	276,913	46.0%	39.7%
↳ 繰越明許	594	594	594	0	100.0%	100.0%
災害復旧費	6	0	0	6	0.0%	0.0%
公債費	441,125	220,359	220,359	220,766	50.0%	50.0%
諸支出金	1	0	0	1	0.0%	0.0%

	予算現額	充 当 額	充当件数
予備費	12,709	7,291	4件

**◎歳出事務の処理状況と意見**  
**(ア)関係簿冊等の記帳整理**

各会計とも、関係諸帳簿、証書類等の保管整理は概ね適正である。

滞納繰越分は、予算現額20万円、調定額37万5千円、収入済額7万5千円、収入未済額363万円となっている。対予算収入率37・5％(11・2％)、対調定収入率2.0％(0.6％)で、いずれも前年同期を上回っている。

下水道使用料の現年分は、予算現額2億7千600万円、調定額1億205万円、収入済額9千69万7千円、収入未済額1千135万4千円となっている。対予算収入率は32・9％(31・5％)、対調定収入率

88・9％(85・3％)であり、いずれも前年同期を上回っている。

滞納繰越分は、予算現額500万円、調定額585万円、収入済額515万7千円、収入未済額69万3千円となっている。対予算収入率103・1％(46・5％)、対調定収入率88・1％(36・5％)で、対予算収入率は前年同期を下回っており、対調定収入率は前年同期を上回っている。

今後も徴収率の向上に向けた関係職員の更なる努力に期待するものである。

**(イ)一般会計繰入金の繰入状況と意見**  
 予算現額2億4千826万1千円(2億1千201万円)、繰入額1億円(1億円)である。今後の繰入については、年度末に至るまでの所要額を勘案し、繰入れされるものと思われる。

**(ウ)その他の収入状況と意見**  
 計画どおりの収入が得られているものと思われる。また、財源捕捉も適正と思われる。

**(ア)介護保険料の収入状況と意見**  
 予算補正は、3回3億1千858万円が追加されているが、補正理由は適正である。予算流用は、14件34万6千円が行われている。流用理由は適正である。予備費充当は、4件729万1千円が行われている。充当理由は適正である。

**(オ)執行状況**  
 各款毎の予算執行状況は下表のとおりである。

今後の事業執行にあたっては、予算の目的に従って積極的に事業の推進を図りたい。

**②国民健康保険事業特別会計**  
 予算現額18億6千17万7千円、支出負担行為額8億4千437万9千円、執行率45・4％(41・9％)で、前年同期を上回っている。

予算補正は1回で、4千798万1千円が追加されているが、補正理由は適正である。

予算流用、予備費充当はなし。

**③下水道事業特別会計(単位:千円)**  
 予算現額6億7千517万1千円、支出負担行為額3億3千734万円、執行率50・0％(65・7％)で、前年同期を

下回っている。

工事請負費は、予算現額1千880万円、支出負担行為額214万7千円、執行率11・4％(97・1％)で、前年同期を下回っている。

予算補正は1回で70万1千円が追加されているが、補正理由は適正である。

予算流用、予備費充当はなし。

**④介護保険事業特別会計**  
 予算現額13億468万6千円、支出負担行為額5億227万6千円、執行率38・5％(44・1％)で、前年同期を下回っている。

予算補正は1回で、3千141万6千円が追加されているが、補正理由は適正である。

予算流用、予備費充当はなし。

**⑤後期高齢者医療特別会計**  
 予算現額1億6千509万円、支出負担行為額7千522万5千円、執行率45・6％(45・3％)で、前年同期を上回っている。

予算補正は1回で、125万8千円が追加されているが、補正理由は適正である。

予算流用、予備費充当はなし。

**(ウ)その他の収入状況と意見**  
 計画どおりの収入が得られているものと思われる。また、財源捕捉も適正と思われる。

**⑤後期高齢者医療特別会計**  
**(ア)後期高齢者医療保険料の収入状況と意見**  
 後期高齢者医療保険料の特別徴収保険料は、予算現額9千337万2千円、調定額8千609万4千円、収入済額4千588万3千円、収入未済額4千21万1千円となっている。対予算収入率49・1％(44・5％)、対調定収入率53・3％(45・4％)となっており、いずれも前年同期を上回っている。

普通徴収保険料は、予算現額3千608万円、調定額3千478万7千円、収入済額1千472万9千円、収入未済額2千5万8千円となっている。対予算収入率40・8％(39・5％)、対調定収入率42・3％(46・5％)となっており、対予算収入率は前年同期を上回っており、対調定収入率は前年同期を下回っている。

今後も徴収率の向上に向けた関係職員の更なる努力に期待するものである。

**(イ)一般会計繰入金の繰入状況と意見**

各会計とも、関係諸帳簿、証書類等の保管整理は概ね適正である。

**(ウ)その他の収入状況と意見**  
 計画どおりの収入が得られているものと思われる。また、財源捕捉も適正と思われる。

**◎歳入事務の処理状況と意見**  
 各会計とも、関係諸帳簿、証書類等の保管整理は概ね適正である。

調定事務については、調定額の算出基礎、調定期等も適正である。

収納が先行する事後調定(使用料、手数料等)の際の、調定調書の作成から調定権者による決裁、会計管理者への調定通知に至るまでの一連の事務処理についても明確にされている。

税及び手数料等の徴収については、納入通知事務、督促事務、収納事務等いずれも確実に処理されている。

※( )内は前年同期の数